

働き方改革を推進するワークスペースの
モビリティとセキュリティ
〈名刺管理とビジネスコミュニケーション〉

株式会社レコモット
代表取締役CEO 東郷 剛



1



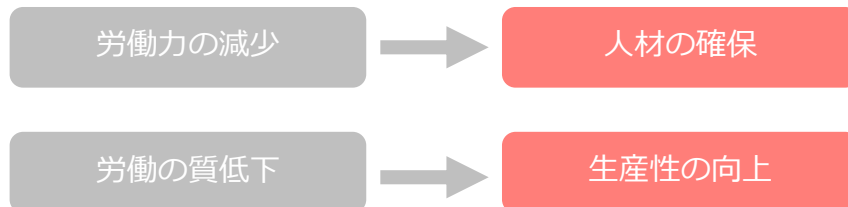
Wat's 働き方改革？

2

働き方改革とは？なぜ必要なのか？



働き方改革を取り巻く背景



さらに・・・

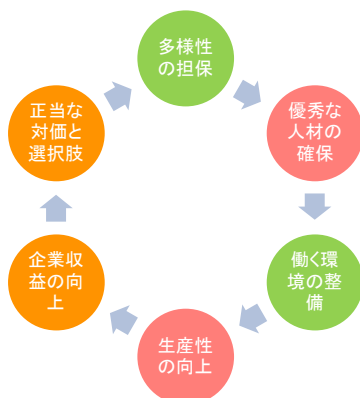
2020年4月より中小企業にも働き方改革法案が適用に！
(企業賞罰あり)

3

働き方改革とは？どうあるべきなのか？



働き方改革の理想的なサイクル



働き方改革の目的とは、企業が**優秀な人材を確保**し、生産性高向上させることで**企業成長**を促し、**従業員**は正しい評価と**対価**を受け、**(働き方の) 自由**を得ること。

つまり、働き方改革とは手段であり、手段を目的化するのはNG！（企業が成長し、従業員は自由な働き方を選ぶことが目的である）

したがって、働き方改革に必要なことは、企業が働く人のバックボーンも含めた多様性を認め、環境を整えることが重要！

4

働き方改革とは？どう始めるのか？



働き方改革を取り巻く変革が必要な要素と課題

制度・プロセス

人事制度、評価制度、労務管理、セキュリティポリシー等
決定までの膨大な労力と時間消費による機会損失

文化・風土

長時間労働、有休消化などの企業の文化とローカルルール等
コミットできないトップと進まない現場の意識改革

働く場所

オフィス環境見直し、在宅勤務、サテライトオフィス等
多額な設備投資、制度と企業風土の影響で進まない

ICT環境

スマホの普及、常時接続、デバイスの導入と管理、配布するアプリ等
制度や過剰なセキュリティにより進まない利用と導入

5



Wat's ICT & テレワーク？

6

テレワークとは？ ICT環境の変遷。



デバイスは多様化し、いつもつながる



携帯電話から

多機能情報端末 + 通信に

携帯から「身につける」へ

5

テレワークとは？ 働く場所の多様性。



変化は必然！ 場所中心から人中心へ。



一般社団法人
日本テレワーク協会 (出典)

テレワークとは、情報通信技術 (ICT = Information and Communication Technology) を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことです。

※ 「tele = 離れた所」と「work = 働く」をあわせた造語



モバイル

在宅

現場

繋がる場所
(サテライトオフィス)



8

テレワークを始める前に！
テレワークに必要な3つのポイント

9

- 1) テレワークと利用端末と所有者**
- 2) テレワークで守るべき情報とは**
- 3) テレワークとリモートアクセス**

10

1) テレワークと利用端末と所有者

2) テレワークで守るべき情報とは

3) テレワークとリモートアクセス

11

テレワークで業務利用する端末の所有者

現在、企業でモバイル端末を業務に利用する流れが2つあります。

1) 会社で支給された端末を業務用途で利用する。

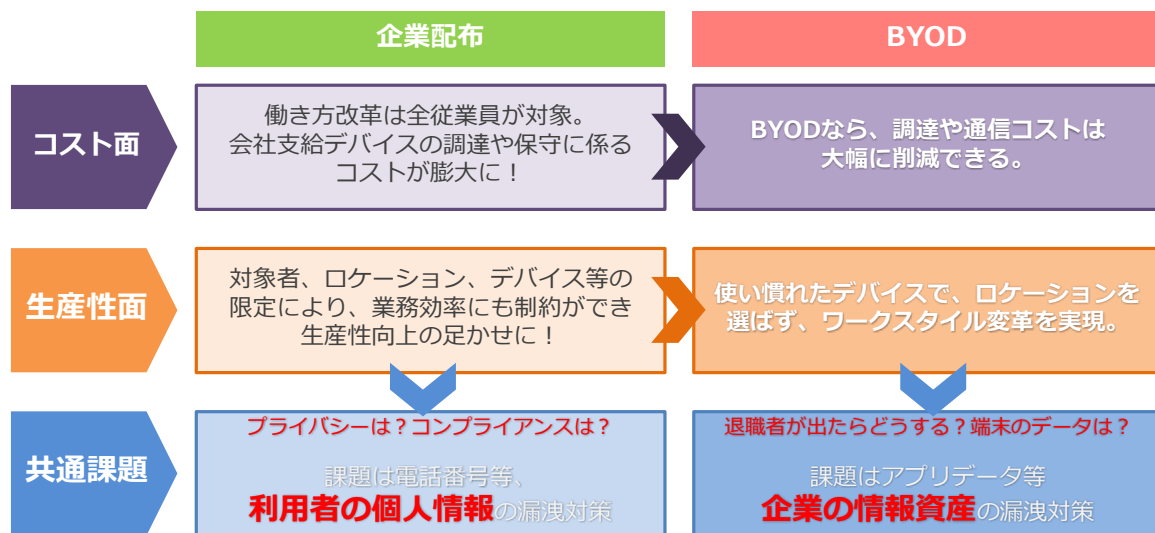
2) 個人の端末を業務用途として利用する。

→BYOD (Bring your own device) と呼びます。



12

BYODの大きなメリットと共通課題



13



1) テレワークと利用端末と所有者

2) テレワークで守るべき情報とは

3) テレワークとリモートアクセス

14

アプリとデータが危険！なぜ？

デバイス管理
(MDM)



セキュアな
ネットワーク

パブリッククラウド
or
オンプレミス
Office 365
salesforce
cybozu.com

❗ 端末のデータは暗号化されているのに。



標準ビジネス
アプリ



堅牢な
認証基盤

15

理由はこれ。思ったよりも低い数値です。

recomot

リモートワイプの成功率

4% ~ 16%

つまり、データが残っているから危険なんです。

16

BYODと端末管理。もっとも重要なことは？



スマートデバイスの利用形態	情報資産の所有者 (データとアプリ)	デバイスの所有者
企業配布端末	データとアプリは企業の情報資産 	デバイスは企業の資産
個人端末の業務利用	データとアプリは企業の情報資産 	デバイスは個人の資産

アプリとデータを守れば個人情報も企業情報も漏洩しません！
最も安全なのは端末にデータが残らないことなのです。

17



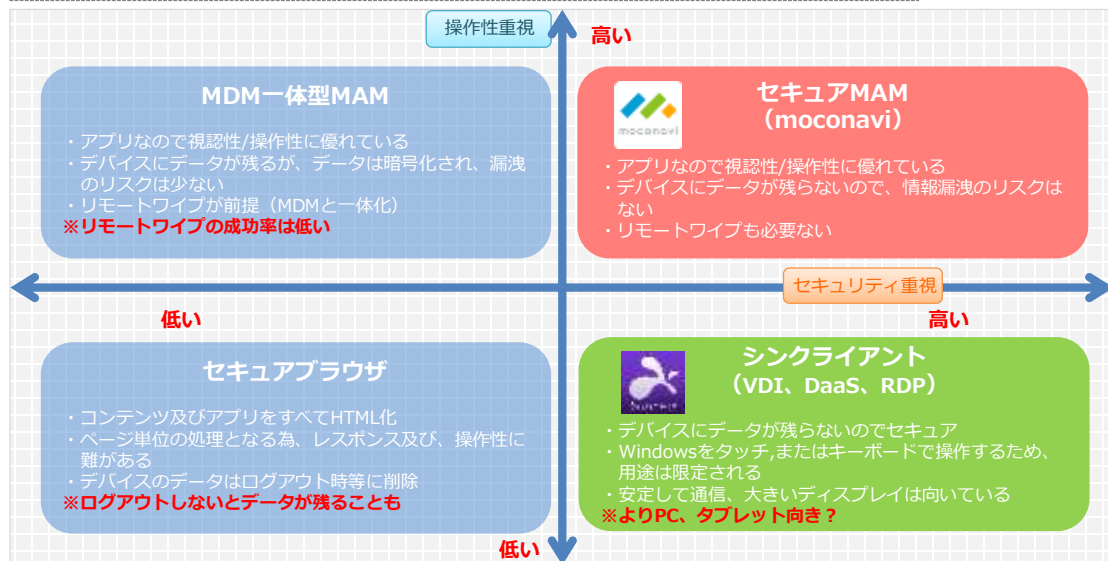
1) テレワークと利用端末と所有者

2) テレワークで守るべき情報とは

3) テレワークとリモートアクセス

18

リモートアクセスの分類



19

テレワークのトレンドはビジネスコミュニケーションへ！



モバイル端末管理 (MDM) とアプリ・データ管理 (MAM) を分離！



アプリ・データ管理 (MAM) は端末にデータを残さないのが理想的！



さらに！

今後はチャットやWeb会議、IP電話やPBX、050サービス、SNSなどのビジネスコミュニケーションの活用と融合が重要になっていく！



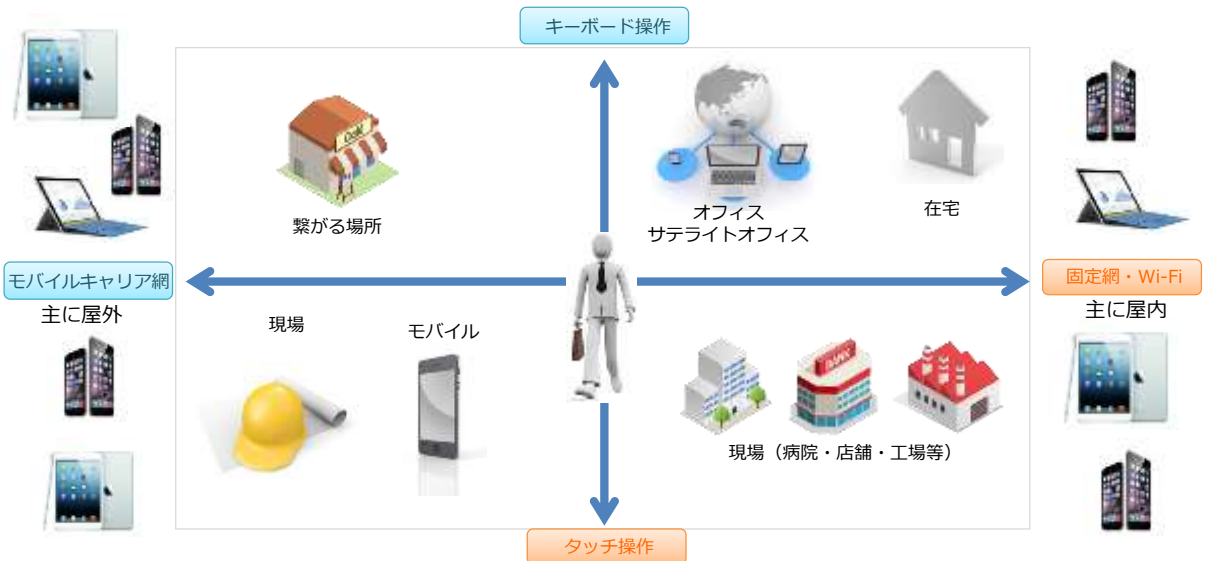
ビジネスチャット



モバイルフォイス"050"

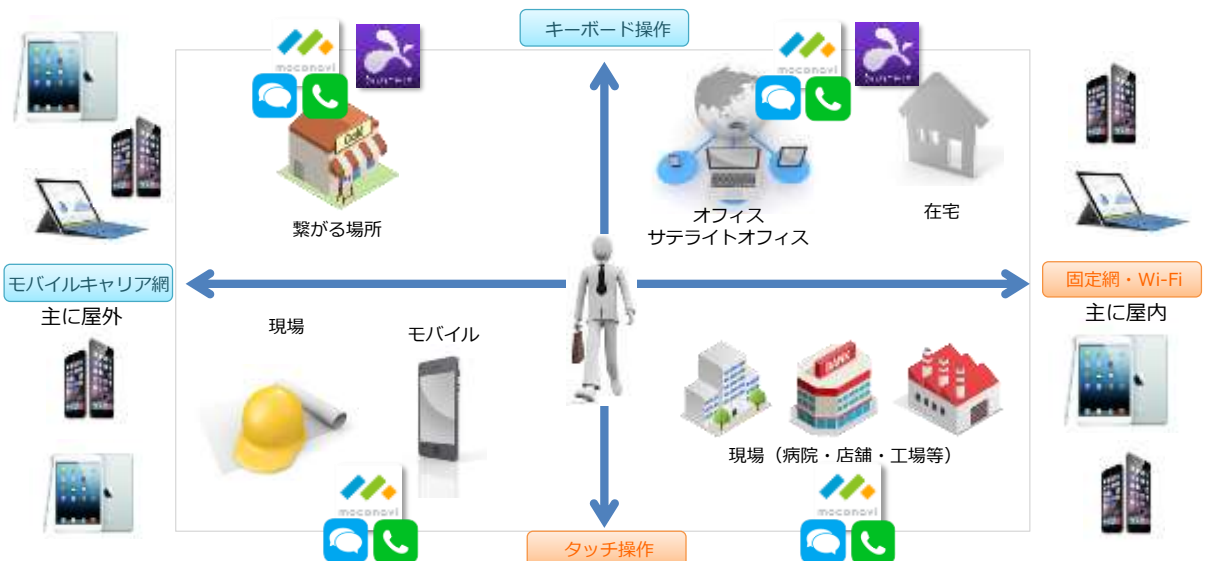
20

利用場面ごとの最適なデバイスとサービスとは。



21

利用場面ごとの最適なデバイスとサービスとは。



22

ビジネスコミュニケーションの融合とは。



人を中心にあらゆるコミュニケーション手段とシステムが繋がっている（融合している）状態。



23



テレワークに必要なものの全部入ってます！
moconaviでテレワーク。

24

テレワークに必要なもの、全部入り。



こんなにあります。標準アプリサービス



25

BYODでも安心。強固なセキュリティ。



業務アプリをサンドボックス内でサービス化 (MAM=ワークスペース)

ネイティブアプリでサクサクと快適に動作 (回線速度が遅くても快適)

利用時間制御やコピー抑止までポリシー制御 (MDMがなくてもキャプチャ抑止)



26

誰でも、どのモバイルデバイスでもつながります。



各種OSを搭載したスマートフォン、タブレットからの利用が可能です。
ガラホ（Androidフィーチャーフォン）でもフル機能が利用できます。

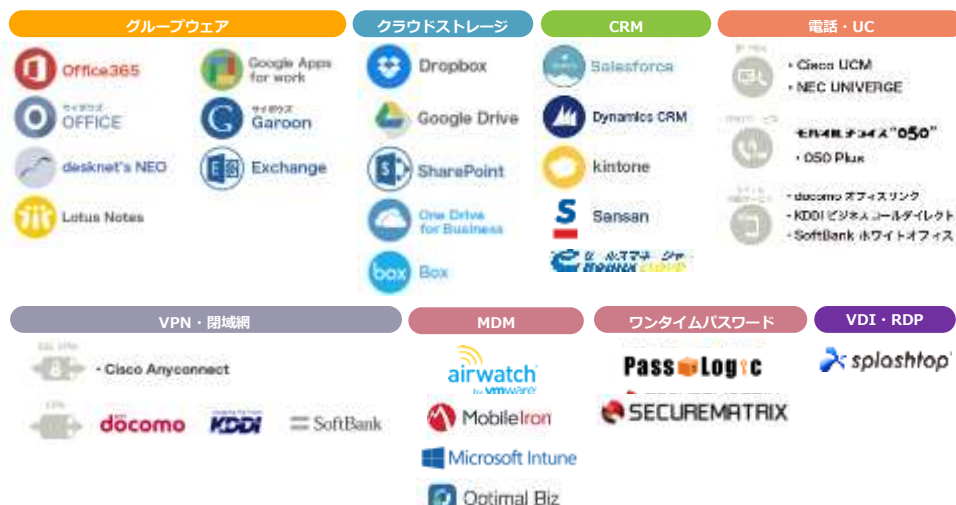


27

テレワークに必要なサービス、全部繋がります。



業務アプリもUCアプリも、1つのアプリで。



28

柔軟な「利用時間制御」と「ポリシー設定」。



グループごとのポリシー設定で、利用時間制御まで。
労務規定に沿ったワークライフバランスを実現します。



利用時間制御

ポリシーで設定された利用時間以外
は利用できません。
グループごとにポリシーパターンが
設定可能です。



29



Office 365

×

Microsoft Azure + moconavi

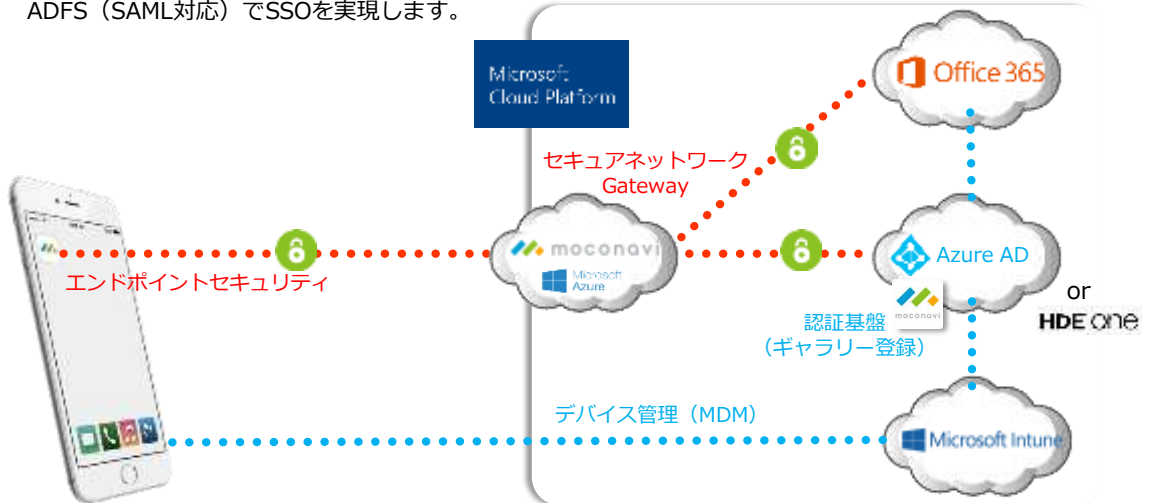
安心のクラウドサービスには
安全なエンドポイントセキュリティを



30

Office365のエンドポイントセキュリティはmoconavi で

ご利用はアプリをインストールして、クラウドサービスにつなぐだけ。
ADFS (SAML対応) でSSOを実現します。



31



sansan

×

moconavi

安心の名刺管理サービスには
安全なエンドポイントセキュリティと
さらなる利便性をプラス

32



27

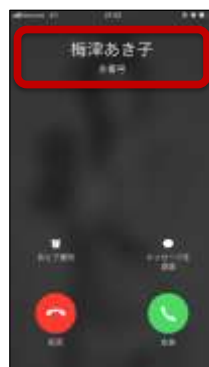
sansanの名刺情報をセキュアに有効活用

sansanに登録された電話番号から着信があると、**端末ローカルのアドレス帳に登録がなくても、moconavi電話帳データを参照する形で発信者が表示されます。**

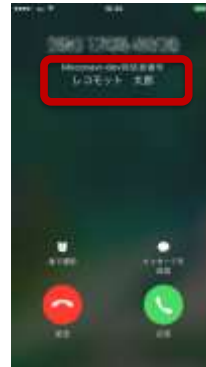
sansanの名刺情報がクラウドにあれば



プッシュで着信時に氏名の表示 (モバチヨ050、PBX)



PBXなくてもPullで着信時に氏名の表示 (Pull型着信表示)



34

sansan連携アドレス帳、今後の対応計画



■ 今後の対応計画

名刺スキャン機能（OCR）、sansan名刺データの表示対応、Web会議連携、人のショートカット等



35



ビジネスチャット

セキュアなビジネスチャット。Skype for Bizのクライアントとしてもテキストチャットが可能！



テキストチャット、グループチャット、既読機能、スタンプや写真、動画、無料通話、無料ビデオ通話といった豊富な機能を高いユーザビリティで提供します。

36

世界で1,800万人が使う
リモートデスクトップサービス

 **splashtop**

×

 **moconavi**

在宅勤務&モバイルワークでも
社内と同じ環境で業務ができる。



37

始めてます、テレワーク！
導入事例

38

市場シェア



クラウド型MAMの市場シェア
4年連続

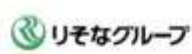
No.1※

420社以上、23万IDを超える利用実績！

※出典：ミック経済研究所「クラウド型MAMの市場調査」

39

導入企業



40

MDM分離の導入事例（設備メンテナンス）

事例3) 三菱電機ビルテクノサービス

- iPhone 9,600台
- docomo 回線
- Exchange、FeliCa etc...
- MDMはAirWatchを利用、アプリはmoconavi。



41

BYODの導入事例（和歌山県庁様）



- 平成24年9月にモコナビを試験的に導入、本年5月より本格運用開始。
- 当初は希望者のみ ⇒ 口コミで庁内に広がる ⇒ 利用希望者殺到
- ワークライフバランス改善 ⇒ 更なる有効活用を模索中
- ワークーションの取り組みを実践！
- ビジネスチャット、モバチヨ050など、ほぼフル機能を利用中



42

さあ、始めようテレワーク！
簡単に導入できるんです。

43

「セキュア」で「簡単」クラウドサービス

堅牢なセキュリティでスマートデバイスの利用を促進！

1つのアプリでクラウドも社内システムも利用。[Office365との連携も40社以上の事例あり！](#)

データが残りません！

ID/PW、デバイスIDの他要素認証、AD認証、SAML等の汎用的な認証方式やタッチID等生体認証をサポート。様々なシステムへのSSOを実現



通信暗号化、SSOを実現！

通信はSSLで暗号化され、経路上に一切のデータを残しません。ID/PWだけでなく、タッチID等生体認証をサポート。さらにSSO（シングルサインオン）を実現。



簡単設置！

専用の中継ソフト（Box型サーバ）設置するだけで、社内サーバの情報をDMZ等で公開することなく、セキュアに接続。



44

クラウド接続アプライアンス



社内サーバーへのアクセスをされる場合は

マイクロサーバー **クラウドボックス**

社内に接続先システムがある場合、VPNクライアントソフトとコネクタソフトをインストールする中継サーバーの構築が必要となります。必要システムをプリセットした、マイクロサーバー「DWPボックス」をご用意しています。

必要システム
プリセット
済み

- アプライアンスをご利用いただく
 - ・ 必要な中継ソフトをプリセットしたマイクロサーバー「クラウドボックス」を提供します。
 - ・ ご利用ID数の目安は～1,000ID。
- お客様に独自にサーバーをご用意いただき、弊社パートナーのエンジニアが中継ソフトをセットすることも可能です。
- 30日間の無料トライアル実施中！（クラウドボックスを無償で貸し出し）

45

本日のまとめ



- 1) テレワークと利用端末と所有者
→企業もユーザーもBYODのメリットは大きい
- 2) テレワークで守るべき情報とは
→企業の情報資産とユーザーの個人情報
- 3) テレワークとリモートアクセス
→「moconavi」と「モバチヨ050」で安全に
(在宅勤務ならSplashtopも忘れずに！)

46

セキュアなネットワーク

堅牢な認証基盤

パブリッククラウド
Office 365
Sansan
Handbook

recomot

デバイス管理 MDM

“One Application”
“All Cloud, All Services, All OS, All Communication”

音声サービス
モバイルフォイス“050”

チャット
ダイヤラー
CRM
セキュアブラウザ
メール
アドレス帳
カレンダー
ストレージ
ドキュメントビューワー
meconavi